

笠岡市教育委員会 10月定例会 会議録

1 開会年月日	令和6年10月18日(金) 午後3時44分
2 場 所	笠岡市教育委員会会議室
3 出席委員等の氏名	教育長 大重 義法 委員 東山 琴子 西崎 倫子 杉本 和歳
4 欠席委員の氏名	藤谷 幸弘
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 森山 一成 教育総務課長 松尾 千鶴 学校教育課長 後藤 嘉孝 生涯学習課長 古宮 奈美子 スポーツ推進課長 土屋 武之 給食センター所長 山本 英司 教育総務課課長補佐 藤代 幸弘
6 付議案件及び議決状況	協議報告事項 別議案紙のとおり
7 会議の状況	別紙のとおり
8 閉会年月日	令和6年10月18日(金) 午後4時35分

議事録署名委員 教育委員 東 山 琴 子

教育委員 杉 本 和 歳

会議録を調製した職員 松 尾 千 鶴

会 議 の 状 況

1 開 会 （大重教育長）

2 前回議事録（定例会）の報告 （藤代課長補佐）

前回令和6年9月定例会の会議録を報告します。9月定例会は、令和6年9月27日（金）午後3時1分から、教育委員会会議室で開催されました。出席者は藤谷委員、東山委員、西崎委員、杉本委員のご出席をいただきました。審議案件は、「議案第22号 公民館運営審議会委員の委嘱について」、「報告第8号 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について」の2議案でした。閉会は同日の午後5時57分でした。

3 教育長の報告（挨拶）

今日は教育委員の皆様方においては、市内の施設訪問ということで大変お世話になり、ありがとうございました。市内のそれぞれの学校で取り組んでいること等について、しっかり直接見ていただいて色々なご感想をお持ちかと思うので、この後の会や色々な場面でまた意見等をいただいて、今後活かしていけたらと思っています。今日はどうもありがとうございました。

先般、10月3日から2泊3日で、私の方が市長の代理ということで韓国の固城郡の方に行ってきました。これは向こうの郡民の日の記念式典に招かれてということや、恐竜エキスポの方へということ、それから向こうの郡主の方への表敬訪問ということでも行ってきました。私の方は教育長という立場で行っていますが、向こうの教育長と会うということにはシステム上ありません。それはどういうことかということ、韓国の場合は、教育というものは国が直轄で全部やっているということなので、教育長に当たる職の人もいますが、教員も含めて全部向こうは国家公務員なのです。建物や校舎とかについても国が直接作るということですから、固城郡として教育に関して直接的に何かやっているかということというのはないのです。向こうも人口がだんだん減っているという現状があるということで、人を呼び込んでいくために働く場所を作ったり住む所を作ったりとか、色々な工夫をされており、結果的に子ども達が増えていくとよいということですが、人口規模も同じようなところですけども、課題としては共通しているのかなと思います。けれども、財政状況は非常に向こうの方が良くて、ものすごいおもてなしで、本当に元気いっぱい迎えていただきました。

それから、教育委員会としての学校規模適正化に向けての動きについても少しお話をさせていただきます。これまで議会、総務文教委員会等を通じて、まずは第1段階としては、先々の児童生徒数というものがこれだけ減っていくという状況にあるということ、データを基にしながらその厳しさをオープンにしていって、それで一般

市民の方々にもそれを知っていただいたということです。それを受けて、我々は学校規模の適正化をどう考えていくのかという第2段階についても総務文教委員会等を通じて、それから議会での答弁でも説明しましたが、我々は学校規模という観点だけではなくて、通学の距離や災害リスク、それから学校の施設の老朽化等、4つの観点を基に検討を進めているという話、そこまではオープンになっていっているところですが。それを踏まえて、この前から地域に出て行っています。陶山小学校を皮切りに、今週の週末には新山・吉田地域にも出て行きますし、結果的には市内の全域に出て行くような形をこの後計画しています。今は他市においても、これは岡山県内だけに限りませんが、児童生徒が非常に減ってきている中で、学校規模の適正化というものが全国的に大きな課題となっています。しかし、それをどのように展開していくかということは非常に重要になってきます。県内の他市でも同じような動きをしている所はありますが、その出し方という部分で苦戦している地域もあります。できあがった学校規模適正化計画の改訂案を作ったので説明に来ました、意見は聞くけれども結局それでやるのだということになってしまいがちなので、地元としてみれば、教育委員会等が決めたものを持って説得に来ているという受け取り方がされる訳です。笠岡市教育委員会としては、できたものを持ってきてお願いということは考えていないので、色々厳しい状況について、あるいは考え方についても既に説明させていただいている訳ですが、その考え方に沿っていくと、こういう方向性ですということをお話しし、それはそうだよねと思ってもらえるように話しに行っているところです。その延長線上で、こちらの地域の学校についてはどう考えたら良いのでしょうかというあたりのことを、それはそう考えたらそうだという風に思ってもらえるような打ち出しをしていって、しっかり意見を聞かせていただきながら、参考にさせていただいて、適正化計画の改訂版というものを我々は作っていくのだというスタンスでやっています。従って、この前陶山の地域にも行きましたが、我々が提案している話について「反対」という声はなく、「それはそうだ」という感じです。中学校についても、大反対とかそんなことを言われる方はおられません。結果的には、金浦中学校のあの場所に作るということは難しいというニュアンスの話をしてはいますが、それについても反対という声はなかったです。それから陶山小学校については、とにかく早くに統合ということが実際に声として出てきているので、我々も元々は適正化計画の中で、施設一体型の話が出てくる前は城見小学校の方へという計画だったので、そこまで戻るのでしょうかという話をさせていただいているところですが、今年度末すぐに城見小に統合することができるのかということ、通常はその間に一応2年を挟んでということになります。2年というのは何故ですかと言った時に、今は複式で特別の教育課程を組んでやっているの、複数の学年が複数の学年で学習する内容を一緒にやっているということで、特別なカリキュラムでやっているから、それをそのまま新しい学校でということになると未履修のところが出てくる訳です。一度統合前加配とい

う教員の加配を配置して、複式を解消して、履修していない内容が出てこないように1年間やるということが必要な訳です。更にもその前の年度に、統合前の加配について県教委とやり取りしないといけないのです。これは加配の部分だけではなく、スクールバスに関しても色々手続きを踏まないといけないので、やはり2年はかかるという話も現地ではして帰っています。この後各地域に出て行って説明をしていくということを考えているところです。

今日は笠岡小学校や神島外小学校・中学校の取組を見ていただきましたが、これから先の急激に変化し予測不可能な社会を子ども達が生きていくためには、自分で考え、自分で判断し、他者と協働しながら課題解決していく力というものを養っていかないといけないのだということで、自分でこういうことをやりたい、知りたい、調べたい、発信したいという、それをいかに前面に出していくかということが非常に大事になってくる訳です。今日見ていただいた3校についても、リーディングDXや地域探究学習も、まさに自分達で、子ども達がということを大事にした取組ということですが、こういう取組を今後もしっかり進めていけたらと思っているところですが、取組をすることで全てが上手くいくのかというと、決してそうではありません。例えばじめの問題や学級が落ち着かないという問題等のベースになる部分をきちんと抑えて、先手の対応をしていって、その上に立ってああいう取組が意味をなしていくということなので、市内の学校で当然色々なことが起きますが、そこは先手先手の対応をしっかりやってくれているので、その辺を着実にこの後も進めていきたいと思っています。私自身も「たい！」のあふれる教育行政ということでの取組を進めています。学校教育だけではなくて生涯学習の部分についても、それからスポーツや給食センターに関わる部分についても、とにかく今は財政状況が非常に厳しい状況にありますが、こういうことをやっていきたいという熱い思い、そういうものを乗せてしっかり取組を実現させていくということが非常に大事になっていきます。実際に竹喬美術館や図書館等、こういうことができないだろうかという提案がどんどん出てきているところなので、ぜひ実現できる部分はしていきたいと思っています。

厳しい状況ではありますが、いかに知恵を絞ってやっていくのかということが非常に重要な観点だと思うので、教育委員の皆様方にも色々知恵をいただきながら、この後色々な施策を着実に進めていけたらと思っています。協力方よろしくお願ひします。

4 議事録署名人の指名（東山委員，杉本委員）

5 協議・報告

(1) 笠岡市小中学校いきいきオープンスクールの開催について（学校教育課）

後藤課長 資料協1-1をご覧ください。各校の教育方針や具体的な活動、児童生徒の実態をより多くの方に知っていただくために、11月1日の岡山教育の日に合わせて毎年この時期に行っています。地域と学校が更に連携を深めて、市民の皆さんと教育に対する認識を高めて、その充実と発展を図ることを目的として、市内小中学校を一定期間一斉に開放して、各校の教育活動を公開するものです。

大重教育長 それでは、委員の皆様方からご質問・ご意見があれば、お願いします。

後藤課長 例年、教育委員の皆さんにも自由に行っていただいています。

大重教育長 できれば教育委員ということ、学校で一言言ってもらった方が良いと思います。

後藤課長 もし時間が空いていれば管理職も対応できると思うので、学校も説明しやすいと思います。

大重教育長 ぜひ自由にご覧になっていただけたらと思います。ご覧になっていただいて、気になるところがあったら遠慮なく我々の方に仰っていただけたらと思います。

東山委員 何か特に特色のある授業が、この学校でこの時間にあるみたいなのがもし分かっていたらと思います。ここにある程度書いてくださっている学校もあつたりするのですが、いかがですか。

後藤課長 これはインターネットに出ている情報なのですが、特に何かここに書かれていること以外に特別なことは聞いてはいないです。

杉本委員 初めてなので全然雰囲気分からないのですが、これはこの時間の間だったらいつ来ても良いよという感じで完全オープンなのですか。

後藤課長 完全にオープンにして、他の方々も自由に出入りをされています。受付があるのですが、そこに名前を書いていただいて、感想を書く用紙があつたりするので、見られて何かお気づきの点等があつたらそれに書いていただければ、学校もありがたいかと思えます。

杉本委員 普通に授業しているところを見させていただくのですね。

後藤課長 その辺は、特に子ども達も人が来ても「こんにちは」とか言うかもしれないですが、大丈夫だと思います。

大重教育長 新吉中のように、プロジェクト新吉プレゼンテーションの日当てているという学校もありますが、ほとんどの学校は普段着の、いつもの学校の様子を見てくださいということなので、我々の方としても、見に来られるから、その日だけ特別なことをしてもらって見てもらうというのでは意味がないと思っています。普段着の学校の様子を見ていただいて、感じたことはこちらの方へどんどん仰っていただけたらと思っています。それでは、他の委員さん方もよろしいですか。

教育委員 (なし)

(2) 笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所指定の研究発表会について (学校教育課)

後藤課長 資料協2-1をご覧ください。大島みたけ学園で小中一貫教育研究発表会が開催されます。日時は11月27日13時20分から、会場は大島中学校になります。研究主題は記載の通りなのですが、大島みたけ学園では昨年度から笠岡市教育研修所の指定を受けて、2年かけて研究の発表ということになります。指導・講評される先生は、四天王寺大学教育学部教授木原先生となります。この木原先生なのですが、平成30年に笠岡市教育審議会で、今後笠岡市においては児童生徒が減少して学校の小規模化が進む中で、学校教育の質向上を図るためにも義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進すべきと答申を出された時の委員長にあたる方となります。以来、本市が小中一貫教育を推進していく中で数々の助言をいただてきました。本研究は、研究主題にもある大島みたけ学園の目指していることの目的達成の手段として、小中一貫教育という教育システムがいかにか有効なのかという、その有効性を実証する研究となります。ぜひお時間があれば、ご覧いただけたらと思います。

大重教育長 それでは、委員の皆様方からご質問・ご意見があれば、お願いします。

東山委員 質問なのですが、これは大島中学校の3年生の場合の授業者は中学校の先生ということですか。

後藤課長 本当は中学校は中学校の授業で、小学校は小学校の場所でやれば良いのですが、小中一貫教育の研究発表なので、それぞれ会場が分かれてしまうと大変なので、今回の場合、小学校の子ども達は中学校に移動して、中学校の教室を使って、そこで小学校の先生が小学校の5年生A組の授業をされるということです。だから、ひっくり返って授業をするということではなくて、中学校は中学校の先生、小学校は小学校の先生ということです。

東山委員 この自由参観も同じ公開授業の時間帯にされるということですか。

後藤課長 そうです。同じ時間で、実は、もう一方のクラスは公開授業ではないので、そこは自由に見ていただくということになります。

東山委員 この読書ボランティア、おはなし読み隊は子ども達なのですか、地域の方ですか。

後藤課長 大島中学校に来ていただいているボランティアの方になります。

西崎委員 この辺も私達が見にいても良いのですか。

後藤課長 事前に言ういただければ、こちらの方で段取りはするので、見に行っただけいただければありがたいと思います。

大重教育長 他の委員さん方はいかがですか。
教育委員 (なし)

(3) 第47回笠岡市青少年健全育成推進大会について (生涯学習課)

古宮課長 資料協3-1・3-2をご覧ください。例年11月の青少年健全育成強化月間に開催している、笠岡市青少年健全育成推進大会についてです。開催日時は11月23日9時30分からです。本日委員の皆様へ案内をさせていただいているので、後日出欠を教えてくださいと思います。今年度は会場を保健センターギャラクシーホールと予定しています。青少年の健全育成に功労のあった方への感謝状の贈呈のほか、スピーチコンテストの優秀賞受賞者の発表や、明るい家庭づくり作文の発表を予定しています。それ以外の詳細については、協3-2にある実施要項をご覧ください。

大重教育長 それでは、委員の皆様方からご質問・ご意見があれば、お願いします。
教育委員 (なし)

(4) 第71回笠岡市文化祭・第47回笠岡市芸能祭・第49回笠岡市菊花展について (生涯学習課)

古宮課長 資料協4-1・4-2をご覧ください。笠岡市文化連盟主催の今年度の秋の行事の案内です。今年度のプログラムは協4-2の通りで、11団体の発表があります。特別出演として、プログラム2番で八幡祭り保存会太鼓打ち児童有志による、真鍋島八幡神社の獅子舞・太鼓打ちの演目を披露いただくことにしています。

大重教育長 それでは、委員の皆様方からご質問・ご意見があれば、お願いします。
教育委員 (なし)

(5) その他

● **学校規模適正化にかかる報告について (学校教育課)**

後藤課長 今週火曜日、10月15日に陶山小学校の方へ説明会の方に行ってきました。出席者の方は、地域住民の方が7名、保護者の方が4名、市議会議員の方が1名、それから校長先生・教頭先生2名を含めると14名ということになります。こちらの方からは教育長、私、出口室長、推進室の2人ということです。内容的には、前回にもお話しさせてもらった適正化の必要性についてと見直しの検討について、それから4つの観点、系統の留意点等をまず説明させていただきました。質問の方がどのような質問が出たかを、簡単に説明させていただきます。まず、統合先

は城見小学校かという質問が出ました。こちらとしては現時点の学校規模適正化計画の中に、令和5年に陶山小学校は城見小学校と統合するのが望ましいと書かれてあるので、今はそのつもりであるが、もし何か意見があったらという答えを返しています。金浦小学校に行きたい子どもは金浦に行けないのかという質問がありました。これは、現時点では城見小と統合を考えているけれども、もしそうなった時には先に検討すべきことになるだろうという答えを返しています。金浦中学校への設置はないということか、リスクのある既存の学校はどうなのかという質問です。どこに新しい学校を設置するかは今検討中で、災害区域への不安や、他の学区と統合する中で一番ベストなところの距離での設置が望ましいであるとかを考えて、今後検討していくという答えを返しています。リスクのある既存の学校はどうなのかということについては、既にある学校についてどうするというになると大変なことにはなるので、そこは今あるからそのままということで答えています。統合となったら陶山小学校はどうなるのか、避難場所として陶山小学校がふさわしいのではないかと、そういう避難場所が不足するのではないかとという質問がありました。もし統合となれば、陶山小学校の跡地のことについてはその後の検討になると、その辺は危機管理課等の担当課としっかり情報の方は共有したいと答えています。計画案の最終期限は、大体の年度は決まっていないのかという質問で、これは11月頃に学校規模適正化計画の改正案というものを出す予定にしているということで答えています。統合したら制服や体操服の補助をしてもらいたい、最速2年で統合できるのかという質問です。もし統合ということが決まればそういう話をしていきたいと、間に2年を挟むことになるので、もし令和7年・8年が準備期間ということになれば、令和9年度のスタートになるという回答をしています。他にも質問が出てきてはいるのですが、また後日まとめてこちらの方から出させてもらおうとは思っています。それからもう1枚の学校規模適正化計画、別紙の方をご覧ください。これからの日程についてです。明日・明後日、新吉中ブロックの方へ行く予定になっています。明日が新山小学校、明後日が吉田小学校になっています。金浦中ブロックの方は、陶山小学校の方に行かせていただいています。今月28日に金浦小学校の保護者対象の説明会、29日に城見小学校、11月4日に金浦小学校の地域の方への説明会を予定しています。新吉・金浦以外の学区については、記載の通り神島外中学校区、北川小学校区、笠岡西中学校区、大島中学校区、笠岡東中学校区それぞれの日にちで開催する予定にしています。

大重教育長 それでは、委員の皆様方からご質問・ご意見があれば、お願いします。

東山委員 広報の仕方というか告知の仕方について教えていただけますか。

後藤課長 各地区ごとで方法が違うのですが、公民館から案内をそれぞれのおうちの方に配っていただいたり、学校からそれぞれの保護者宛に配ってもらったりとかいうような形で、色々な所を使ってお配りしています。

森山部長 まち協の会長の所に相談に行っています。どういった形で配らせてもらうのが良いですかと、そのまままち協でやりますよという所もあるし、行政の配りものと一緒にやってもらえませんかとか、ちょうど回覧があったりするからその回覧と一緒にとか、その地域その地域で違います。時間がなかったら公民館がやります。教育委員会の方と同じ行政機関なので、地域の方の手を煩わせるようなことがあったら公民館がやると受けてくれる所もありました。地域に任せているので、本当に全世帯にそういったことが周知されているかどうかというのは分からない部分もあるのですが、できるだけ多くの方に声かけをお願いしています。

東山委員 私はたまたま大井地区の行政協力で配り物の準備を今しているのですが、その中に回覧として1枚用紙が入っていました。各ブロックごとにその回覧を回しましょうということだろうと思うのですが、例えば児童館の配りものの中にはその用紙が入っていなかったんで、私が一応児童館に持って行ってコピーして、お知らせのポスター的な感じにされていたら広く見られるのかなと感じたので、もしそういった公共の場所に告知できるものならあった方が良いのかと感じた次第です。未就学のお子さんをお持ちの家庭等は本当に関わってくる話なので、関心を持たれているかなと感じた時に、知る場所が増えていた方が良いのかなとも感じました。

大重教育長 就学前についてはこども部の方とやり取りして、そちらへ配ってもらうように段取りしてあるでしょう。

松尾課長 就学前の施設ではなく、保育所やこども園にも行っていない未就園のお子さんが利用する、地域子育て支援センターや児童館等にも掲示をした方が良いのではないかという意見ですね。

東山委員 そうです。

森山部長 それは貼らせてもらえるように言います。公共施設は貼らせてもらえるようにお願いするようにします。

杉本委員 11月に学校規模適正化の詳細が決まるという話ですね。11月8日の学区と29日の学区では、情報量が違ってくるのですか。

大重教育長 基本的には方向性について話しをするということになります。今我々

が考えているのは、11月25日の総務文教委員会で学校規模適正化の改訂版の案が出せたらなと思っているので、その前に地域に行くという形です。方向性の話はするけれども、25日に出す予定の中身について話をすることにはなりません。東中についてのみ11月29日ということで順番が逆になっています。そこは影響は最小限に抑えられるようにしていきたいと思っています。

後藤課長 次の11月15日の教育委員会の定例会には、総務文教に出そうとしている適正化骨子案というものが一応お出しできると思います。

大重教育長 その方向で今は考えています。教育委員の皆様方には一足先という話ではありますが、その段階ではまだ公開という段階ではないので、内々という形でのお示しになるかも分かりません。それと、11月13日には北川小学校の学区にも行くので、北川小をどうするのかということだけの話にとどまらず、小北中をどうするのかという話にも当然なってくるとは思っています。しかし、小北中については矢掛町の方との兼ね合いもあるので、矢掛の方ともやり取りはしていく必要があります。矢掛は小田地区の住民にアンケートを10月中に実施すると聞いているので、その結果がどうなるのかということについても事前にやり取りをしておく必要があると思いますけれども、小北中についてどうするかという話はなかなかこの場ではできにくいのかなとは思っています。他の委員さん方はよろしいですか。

教育委員 (なし)

● 生涯学習課のイベントについて（生涯学習課）

古宮課長 生涯学習課の関連で、この後色々ありますイベントのチラシを4枚配らせていただいています。「としょかんまつり」、そして「青少年スピーチコンテスト」、気軽に来ていただければと思います。直近ですが10月27日「カブトガニ祭り」、こちらは今絶賛準備中、各中学校・高校の力作が色々揃うので、よろしければお越しいただければと思います。

大重教育長 それでは、委員の皆様方からご質問・ご意見があれば、お願いします。

教育委員 (なし)

大重教育長 もしよろしければ足を運んでいただけたらなと思うので、よろしくお願ひします。その他、何か委員の皆様方からはよろしいですか。

西崎委員 分かったら教えていただきたいのですが、中学校の職場体験があります。それで中学校2年生が色々な所に行くのですが、こども園に行く子と幼稚園に行く子とがいて、こども園はそこで提供される給食を中学生

も一緒に食べることができるのだけれども、幼稚園に職場体験に行く子はなぜかお弁当を持ってきてくださと言われていています。でも幼稚園は給食になったのに、何故お弁当なのかなと思いました。職場体験は子ども達と同じものを中学生も食べて、そこで美味しいねとか言いながら体験して食育していくのかなと思って、何故幼稚園だけ体験に行く子は給食がないのかなとすごく疑問に思っています。

- 森山部長 幼稚園はどこ幼稚園か分かりますか。
- 西崎委員 笠岡幼稚園です。
- 松尾課長 去年ですか。
- 西崎委員 今年です。
- 松尾課長 違うかもしれないのですが、他のこども園は自園で作っているの、割と数というか自分の所で調整できるのですけれども、多分配送ですよ。
- 森山部長 今年から、吉田から持ってきています。でも、前もって言っていたらしてくれないのか、2日か3日かそんなに何日もないでしょう。
- 西崎委員 もし可能なら、同じ釜の飯ではないですが、体験で来ている子だけ弁当を持ってではなくて、一緒のご飯を子どもたちと食べるというのは大事なのかなと勝手に思ったのでお伺いしました。
- 後藤課長 昼食のことについては、正直事業所との相談になっているのです。こちらが弁当とかこうしてくださいということは言っていないで、事業所との話し合いの中で決まっていくので、どうなのか事情がよく分からないのですが、仰ることは本当によく分かります。もし可能だったらというところだとは思っています。
- 松尾課長 市内の私立と公立と色々あるのですが、ちなみにどこの園とどこの園ですか。
- 西崎委員 まや保育園とか笠岡認定こども園は給食が出るのですが、笠岡幼稚園に行く子だけが出なくて、「私だけ4日間弁当なんだ」と言っていました。
- 森山部長 何か理由があるかもしれないので、可能なら確認しましょう。
- 大重教育長 おそらく何らかの理由があるのかも分からないですね。
- 西崎委員 多分その理由を知ったら「ああ、そうなのか」となるかもしれないと思います。ただただ「弁当を持ってきてください」となると、「何で」となったみたいです。
- 大重教育長 確かに給食等については、今頃はアレルギーの関係であったり、色々配慮を要する子ども達が結構増えてきているので、その辺への配慮という部分も実際にはあるのです。その辺がどう絡んでいるのかということ

は全然分かりませんが、情報を集めてみてということですね。

西崎委員　あと1点、笠岡小学校も「まち探検」とか言って、結構地域のことを知る機会がたくさんあって、今回うちに2年生の子が来てくださったのです。とにかく若い子からの質問というのはお寺の住職も受けたことがないから、いかに歴史を柔らかくして、紐解いて、子ども達に教えるかというのは非常に勉強になった訳で、非常に良くて、笠岡はこれだけ神社やお寺があるから、もっとこういうことを利用して、そういうまち探検とかに使えば良いのになとすごく感じていて、それが笠岡の町を知るきっかけにもなるのかなとも感じています。

後藤課長　学校内だけで学べるということのはやはり限度があるので、こちらとしても本当に、学校の外に出て行って、その地域の中で色々学べることをどんどん、子ども達にそういう交流や体験を増やしていこうと思っ
ているので、そういう部分をどんどん広げていきたいなと思っています。

大重教育長　地域を学びのフィールドにしていくというのも1つのキーワードとして、学校の中だけで学びを完結させるのではなくて、地域の中の学校だという考え方で地域で色々なことを学ぶ、しかもただ単にその地域のことを知るということだけではなくて、今日の神島外中学校の発表なんかもそうですが、地域で何が課題になっているのかとか、その地域の課題解決のために自分達は何ができるのかとか、そういったことも考えていく、その延長線上で色々な提案をしていくとか、そういったことを体験学習として重要な部分として展開しているところです。だから小学校の2年生の段階でやるまち探検というのは、そこに繋がっていく要素も十分あると思いますから、大事にしていきたい取組だと思っています。その他の委員さん方はよろしいですか。

教育委員　（なし）

大重教育長　今日は施設訪問の部分から1日という日程でしたが、皆様方には大変お世話になり、どうもありがとうございました。次回の定例会は、11月15日（金）15時から、教育委員会会議室においてということなので、よろしく願います。今日はどうもお疲れ様でした。